



魯桃桜

編集・発行 長野市立長野図書館
〒380-0843 長野市長門町 1097-3
電話 026-232-3558
<https://library.nagano-ngn.ed.jp/>



芥川龍之介と上高地

7月24日は、小説家・芥川龍之介の命日です。昭和2年、芥川は田端の自宅で大量の睡眠薬を服用し、35歳で自ら命を絶しました。若き文豪の死は、当時の文壇に大きな衝撃を与えました。彼の代表作『河童』にちなみ、この日は「河童忌」とも呼ばれ、夏の季語にもなっています。

さて、『河童』の舞台が長野県の上高地だということをご存知でしょうか？ 作品の冒頭では、上高地から穂高岳へ続く登山道が描写され、作中には現在も上高地のランドマークとなっている河童橋が登場します。芥川は17歳のときに槍ヶ岳を登りました。その際に目にした河童橋から着想を得て、『河童』を執筆したといわれています。作品が発表されると、河童橋はたちまち上高地の名所となりました。しかし、河童橋が初めて架けられた時期については正確な記録がありません。芥川が訪れた当時、橋は木製の跳ね橋でしたが、後に吊り橋へと改修され、現在の橋は1997年に掛け替えられたものです。

晩年、芥川は上高地について「夏に訪れた土地では一番気に入っています」と語っています。その美しい自然は今も変わらず、多くの人々を魅了し続けています。河童橋を訪れた際は、芥川の作品に思いを馳せながら、そっと河童の姿を探してみてください。もしかすると、静かな水辺でひっそりと佇んでいるかもしれません。

【7月映画上映予定 午後2時から 3階視聴覚室】

7月12日(土)

タイトル:「白鯨(はくげい) MOBY DICK」 字幕・カラー・116分

監督:ジョン・ヒューストン

CAST:グレゴリー・ペック/リチャード・ベイスハート

レオ・ゲン/オーソン・ウェルズ

<1956年 アメリカ作品>

7月26日(土)

タイトル:「モンパルナスの灯」 字幕・白黒・108分

監督:ジャック・ベッケル

CAST:ジェラルド・フィリップ/リリー・パルマー

レア・パドヴァニ/ジェラルド・セティ

<1958年 フランス作品>

図書館カレンダー

■ ……休館日

7月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

☆イベントのお知らせ☆

長野市立長野図書館開館40周年

記念「One DAY 映画フェス」

開館40周年を記念し、人気映画3タイトルを一挙上映します。

7月21日(月、祝日) 会場:3階視聴覚室

時間:10:35~16:45 (10:15開場)

☆上映作品

「ブーベの恋人」 10:35~

106分 1963年 イタリア・フランス合作作品

「第三の男」 13:10~

100分 1949年 イギリス作品

「嵐が丘」 15:10~

104分 1939年 アメリカ作品

※詳しくは館内のチラシをご覧ください。

開館時間 平日 9:45~19:00

土日祝 9:45~18:00



新刊案内



『若い世代や女性が活躍する自治会・町内会の極意』 水津 陽子／著 実業之日本社 《318ス》

全国で相次ぐ、自治会・町内会の解散。このままでは 10 年後に活動が成り立たなくなる！自治会・町内会が進むべき道を 5 つの革新事例により照らし出し、再生・活性化するために必要なことを伝える。

『かしこい子に育つ季節の遊び』 三浦 康子／著 青春出版社 《386ミ》

日本には、その時期にしかできない行事や風物詩、遊びがある。七夕飾り、いろはかるた、草笛、ほおずきの風船…。和 cultura 研究家が、情緒あふれる日本の文化を知り、知恵と知識が得られる遊びの数々を紹介する。

『有名建築事典』 種田 元晴／編著 学芸出版社 《520タ》

建築を学ぶ人が必ず知っておきたい有名建築 500 作品を厳選し、その概要を平易な言葉と端的なイラストで紹介する。多様な視点から有名建築を論じたコラム、所在地マップ、次に読むべきオススメの本のリストなども掲載。

『ほぼ 15 分以内!超かんたん最安肉を最高に美味しく』 新谷 友里江／著 主婦と生活社 《596ニ》

しょうが焼き、ハンバーグ、カレー唐揚げ…。安価な豚こま・ひき肉・鶏むねで作る、やわらか・ジューシー・うまみたっぷりのおいしい肉料理レシピを紹介します。いつものお肉がワンランク上のおいしさになる手軽なコツも満載。

『我、演ず』 赤神 諒／著 朝日新聞出版 《Fア》

北関東の要衝の地であるがゆえに、常に戦場となってしまう佐野。戦のない世を求める唐沢山城主の佐野昌綱が、北条氏康と上杉輝虎と渡り合う手段に選んだのは<降伏>だった！戦国を生き抜いた傑物を描く歴史小説。

『紅色の幻』 あさの あつこ／著 PHP 研究所 《Fア》

夫・新吉が言付けを頼んだ職人らしき人物が、菖蒲長屋近くで殺された。その懐には、きれいなビードロの風鈴がしのばせてあり…。青春時代ミステリー、「おいち不思議がたり」シリーズ第 7 弾。『文蔵』連載を改題、加筆・修正。



5月発表の主な文学賞受賞作品

第56回大宅壮一ノンフィクション賞

『バブル兄弟』

西崎伸彦 《289.1タ》

第38回 三島由紀夫賞

『橘の家』

中西智佐乃

「新潮」2025 年3月号掲載

第38回 山本周五郎賞

『女の国会』

新川帆立 《Fシ》



今月のテーマ 「海と川、水辺の生き物」



色鮮やかな姿をしていたり不思議な生態をしていたりと、水中や水辺にすむ生き物たちはとても興味深い存在です。その一方で、人間の活動による海洋汚染や温暖化の影響が深刻になってきています。7月21日の海の日にちなんで、そんな生き物たちの本を集めました。

見たり聞いたり

～新着 CD から

ピックアップ～

新着 CD 紹介



『PIANO BEAT』

『自律神経にこちよい音楽』

《760イ》

『中空の竹』

《763マ》

『日本歌曲 作曲家二十八人選』

《767オ》

『ブギ・ウギの誕生』

《767フ》

『鈴木清順映画音楽選集 日活篇』

《778ス》

ピアノデュオユニット「デフレール」のメンバーであり、日本唯一のブギ・ウギ・ピアニストとして活躍する斎藤圭土^{けいと}のオリジナル・ソロアルバムです。アルバムには自身も共演経験のあるドラマーの伊藤大地を迎え、ピアノとドラムの絶妙な空気感のあるグルーヴに満ち溢れたサウンドが楽しめます。